

## お詫びと訂正 (Virtage)

このたびは、BladeSymphony BS320（以下 システム装置）をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。システム装置に添付のマニュアルに訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

### ■ Virtage ユーザーズガイド 導入編(第1版)

「付録」「付録 A 製品仕様」「付録 A.3 HVM がサポートする機能」 (p. 22)

誤				
項目		HVM ファームウェアバージョン		
		…	17-6X	17-7X~
ゲスト OS	Red Hat Enterprise Linux 5.3	…	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 5.4 *1 *2	…	○	○
	:	:	:	:
	Windows Server 2008 R2 *1	…	○	○
正				
項目		HVM ファームウェアバージョン		
		…	17-6X	17-7X~
ゲスト OS	Red Hat Enterprise Linux 5.3	…	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 5.4 *1 *2	…	○	○
	Red Hat Enterprise Linux 5.6 *2	…	×	○
	:	:	:	:
	Windows Server 2008 R2 *1	…	○	○
	Windows Server 2008 R2 SP1	…	×	○

「付録」「付録 A 製品仕様」「付録 A.3 HVM がサポートする機能」 (p. 22)

誤		
*2 Red Hat Enterprise Linux 5.4 を使用する場合、以下のカーネルを適用してください。		
ゲスト OS	カーネルバージョン	
Red Hat Enterprise Linux 5.4	x86	2.6.18-164.15.1.el5PAE
	AMD/Intel 64	2.6.18-164.15.1.el5
正		
*2 Red Hat Enterprise Linux 5.4/5.6 を使用する場合、以下のカーネルを適用してください。		
ゲスト OS	カーネルバージョン	
Red Hat Enterprise Linux 5.4	x86	2.6.18-164.15.1.el5PAE
	AMD/Intel 64	2.6.18-164.15.1.el5
Red Hat Enterprise Linux 5.6	x86	2.6.18-238.9.1.el5PAE



\*EMA0008985-A\*

## ■ Virtage ユーザーズガイド 運用編(第1版)

「2 HVM スクリーンによる運用」「2.4 注意事項」(p.101)

**追加** ページ先頭に項目を追加し、以降の項目は繰り下げて読み替えてください。

### 2.4.1 HVM 起動時の前提条件について

- HVM を起動するためには、以下のリソースが必要になります。以下の前提条件を満たしていない場合、HVM が起動できません。

項目	前提条件		
プロセッサ数	2つ以上		
メモリサイズ	HVM	1280MB 以上	
	LPAR	Windows Server 2003	: 256MB 以上
		Windows Server 2008	: 512MB 以上
		Red Hat Enterprise Linux	: 512MB 以上

## ■ Virtage セットアップガイド 基本構成編(第1版)

「2 HVM スクリーンによるセットアップ」 「2.7 注意事項」 「2.7.1 Linux について」 (p. 147)

誤		
設定項目(設定ファイル)	設定内容(必須)	
ゲスト OS	Red Hat Enterprise Linux	
アーキテクチャ	x86	AMD/Intel 64
:		
/boot/grub/grub.conf の kernel 行	<b>【Linux 5.3】</b> clocksource=hpet 追加	<b>【Linux 5.3】</b> notsc 追加
	<b>【Linux 5.4】</b> タイマオプション削除 *1	<b>【Linux 5.4】</b> clock=tsccount 追加
	:	:
:		
正		
設定項目(設定ファイル)	設定内容(必須)	
ゲスト OS	Red Hat Enterprise Linux	
アーキテクチャ	x86	AMD/Intel 64
:		
/boot/grub/grub.conf の kernel 行	<b>【Linux 5.3】</b> clocksource=hpet 追加	<b>【Linux 5.3】</b> notsc 追加
	<b>【Linux 5.4/5.6】</b> タイマオプション削除 *1	<b>【Linux 5.4/5.6】</b> clock=tsccount 追加
	:	:
:		

「2 HVM スクリーンによるセットアップ」 「2.7 注意事項」 「2.7.1 Linux について」 (p. 147)

<b>誤</b>	<p>■ HVM が推奨しないカーネルパラメータの場合、OS システム時刻が大きくなる、ブートに失敗するなどの現象が発生する場合があります。/boot/grub/grub.conf の kernel 行に以下のカーネルパラメータを設定してください。</p> <p>カーネルパラメータの設定例を以下に示します。</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p><b>【Linux 5.4 (x86)】</b>          (変更前) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid          (変更後) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">nmi_watchdog=0 ipj=2530000</span></p> <p><b>【Linux 5.4 (AMD/Intel 64)】</b>          (変更前) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid          (変更後) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">nmi_watchdog=0 clock=tscaccount ipj=2530000</span></p>
<b>正</b>	<p>■ HVM が推奨しないカーネルパラメータの場合、OS システム時刻が大きくなる、ブートに失敗するなどの現象が発生する場合があります。/boot/grub/grub.conf の kernel 行に以下のカーネルパラメータを設定してください。</p> <p>カーネルパラメータの設定例を以下に示します。</p> <p style="color: red;">なお、Linux のバージョンによりカーネルの表示内容が異なります。</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p><b>【Linux 5.4/5.6 (x86)】</b>          (変更前) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5PAE ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid          (変更後) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5PAE ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">nmi_watchdog=0 ipj=2530000</span></p> <p><b>【Linux 5.4/5.6 (AMD/Intel 64)】</b>          (変更前) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid          (変更後) kernel /vmlinuz-2.6.18-164.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 nodmraid  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">nmi_watchdog=0 clock=tscaccount ipj=2530000</span></p>

「2 HVM スクリーンによるセットアップ」 「2.7 注意事項」 「2.7.2 Windows について」 (p. 153)

<b>追加</b>	<p>■ Windows Server 2008 を使用する場合、以下の条件のすべてが該当するような状況になると、OS システム時刻のずれが大きくなる可能性があります。このような場合は、省電力機能を無効にしてください。または、プロセススケジューリングモードを共有モードにすることにより、発生頻度を抑えることができます。</p> <p>①省電力機能を追加 (C6 state サポート) した HVM ファームウェアバージョン 17-41 以降のバージョン          ②ゲスト OS に Windows Server 2008 以降を使用している          ③マルチメディアタイマを使用するアプリケーション (例 メディアプレーヤー) を動作させている</p>
-----------	---